

赤平市表彰

11月3日(文化の旦)10時から
交流センターみらいにおい
て表彰式が行われます。

功 労 表 彰

〔市政功勞〕 赤川 清介氏
あかがわ せいすけ

昭和16年4月25日生
本町2丁目3番地



平成11年に、赤川医院の院長に就任され、地域住民の健康増進に心血を注がれております。
また、市内小学校の学校医として保健衛生の向上に多大な貢献をされ、更に、平成17年9月より赤平医師会会長として会の運営にあたられ、休日夜間の診療体制の強化など地域医療の充実に努められておられます。
この他、赤平市高齢者保健福祉計画並びに介護保険事業計画

功 績 表 彰

〔社会福祉功績〕 浜塚 幸一氏
はまづか こういち

昭和8年11月21日生
錦町3丁目1番地



昭和55年12月、民生委員児童委員に就任し、平成7年より民生委員児童委員協議会副会長、平成13年12月から平成19年11月までの間会長の職に就かれ、32年間、深い隣人愛をもって生活自立支援や心

配ごと相談等に熱心に取り組み
れ、また、市政の協力者として活
動を展開するなど、社会福祉の向
上にご尽力をいただいています。

〔産業経済功績〕

㈱ニッショウ

(代表取締役社長 松原 章氏)



住友石炭赤平炭鉱の閉山に伴
い、住友石炭鉱業(株)により、赤平
市における事業の一環として、平
成6年9月にイズミプレカット

材木商や大工・工務店を取引先
として受注棟数を増やし、その取
引先企業は、札幌市周辺を中心と
して全道に広がっており、今般、
共和工場に新ラインを設備し、発
展を目指されているところで、着
実に実績を伸ばし、本市における
中核的企業として、地域経済の振
興や活性化、雇用の安定に尽くさ
れています。

善 行 表 彰

茂尻中央町内会

(会長 岩木 准作)

茂尻中央町は、茂尻地区のほぼ
中央に位置し、もともと茂尻炭鉱
の従業員への物資供給のために始
まった商店街で形成された茂尻市
街地区で、昭和59年に茂尻中央町
と改称され、現在に至っています。
茂尻中央町内会は、会員数208名
世帯数108世帯(24年7月末)で、地
域の美化や環境の保全、青少年の育
成、更に、交通安全運動はもちろ
高齢者保護にも意を注ぎ、安全に
暮らせる地域づくりを目指し、活
発に活動しています。

橋本 知典さん(10歳)

寿美さん(8歳)

平岸小学校に通う橋本知典さ
ん(5年生)と寿美さん(2年生)
兄妹が、登校時に見つけたごみは
道端に寄せておき帰りに拾った
り、雪解け後の4〜5月は、特に
ごみが多いので帰宅後スーパ
ーの袋や火ばさみを持って再び出
かけて、ごみ拾いをしています。
知典さんは、誰に指示されたわ
けでもなく、小学校に入学した年
から始め、今では兄妹そろって活
動されており本年、北海道開発局
長表彰を受けています。

勤 続 表 彰

勤続年数30年

保護 司 佐藤 之彦氏

消防 団員 塩澤 治氏

消防 団員 谷口 健二氏

勤続年数15年

保 護 司 草原 亘子氏

消 防 団 員 山 森 章 翁 氏

◆ご勤続に感謝の心を込めて：

赤平市文化功勞賞

芸術〔舞踊〕安藤 悦子氏
あんどう えつこ

昭和7年5月18日生
泉町3丁目5番地



昭和40年代から文化サークル
団体を結成し、積極的に歌と踊り
の活動に取り組み、あかびら火ま
つり「市民おどり」では、各団体の
踊りの指導に努め、中心的な存在
として功績は大きく、赤平市の文
化の普及振興に多大な貢献をさ
れています。